

## 平成26年度 医療事故・インシデントについて

宮城県立病院機構が運営する各県立病院における平成26年度の医療事故・インシデントの状況について、下記のとおり公表します。

平成27年7月1日

地方独立行政法人宮城県立病院機構

理事長 西 條 茂

### 1 レベル別件数

レベル	循環器・呼吸器病センター	精神医療センター	がんセンター	合計
5	0件	1件	1件	2件
4	0件	1件	0件	1件
3	11件	30件	47件	88件
2	28件	201件	44件	273件
1	260件	362件	565件	1,187件
0	55件	40件	107件	202件
合計	354件	635件	764件	1,753件

### 2 事象別件数（主な医療事故・インシデントの種類）

循環器・呼吸器病センター	精神医療センター	がんセンター
処方・与薬(97件)	転倒・転落(118件)	転倒・転落(174件)
ドレーン・チューブ関係(61件)	給食・栄養関係(111件)	ドレーン・チューブ関係(135件)
転倒・転落(56件)	与薬・服薬(84件)	注射(95件)

### 3 平成26年度に実施した主な防止対策

#### ○ 循環器・呼吸器病センター

インシデント等の種類	対 策
処方・与薬	<ul style="list-style-type: none"><li>5R（与薬時確認）の実施を徹底した。</li><li>処方・与薬時に、複数の目によるダブルチェックを徹底した。</li></ul>
ドレーン・チューブ関係	<ul style="list-style-type: none"><li>患者状態の観察を強化、（環境の変化による不穏行動、皮膚搔痒感等）症状に応じた不穏時の指示の実施、絆創膏固定の工夫、必要最小限のライン管理にする、といった取組みを行った。</li></ul>
転倒・転落	<ul style="list-style-type: none"><li>離床センサーの設置及び監視モニター下の観察を強化した。</li><li>危険度シグナルの表示・リストバンドの危険表示等の環境整備を行った。</li></ul>

## ○ 精神医療センター

インシデント等の種類	対 策
転倒・転落	<ul style="list-style-type: none"> <li>前年度の転倒・転落のインシデントに関する集計分析を行い、院内共通の「転倒・転落防止対策」を策定した。</li> <li>入院時オリエンテーション時に利用者参加型で使用できるリーフレットを作成し、各病棟に配布した。</li> </ul>
給食・栄養関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>インシデントの中でも発生件数の多い異物混入（毛髪混入）について、栄養係及び委託業者とで対応を検討し、調理担当者が被る衛生帽（フードタイプ）を採用した。</li> </ul>
与薬・服薬	<ul style="list-style-type: none"> <li>看護部医療安全委員会で、与薬に関するインシデント・アクシデントを減らすための標語を作成し、各病棟内に掲示するとともに、与薬マニュアルの遵守についての周知・徹底を行なった。</li> </ul>
委託業者関連 （清掃・医事・給食等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>委託業者（清掃・医事・給食等）に関連するインシデントも多く発生していたため、当該業者職員を対象とした医療安全研修会を2回実施した。</li> </ul>
暴力行為	<ul style="list-style-type: none"> <li>病院として「暴力を絶対許さない」という強い意志を内外に示すため、院内各所にポスターを掲示した。</li> </ul>

## ○ がんセンター

インシデント等の種類	対 策
転倒・転落	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療者介助時の転倒をなくすため、全職員を対象に、理学療法士による「ボディメカニクス」に関する研修を実施した。</li> <li>各病棟の離床センサーを増設した。</li> </ul>
ドレーン・チューブ関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>「医療用テープ・ドレッシング及びテープ固定方法」に関する研修会を実施し、新たなドレッシング材を採用した。</li> </ul>
注射	<ul style="list-style-type: none"> <li>注射実施直前の三点認証について、医療安全だより及びポスター等により、院内職員に対する周知徹底を図った。</li> </ul>
与薬	<ul style="list-style-type: none"> <li>与薬時の確認ルールの遵守や確認方法について、医療安全だより及びポスター等により、院内職員に対する周知徹底を図った。</li> <li>内服薬の種類、与薬方法の多様化が進む中、薬剤の病棟配置や薬品カートの更新等、薬品管理における看護師の負担軽減に向けた検討を進めた。</li> </ul>
暴言・暴力	<ul style="list-style-type: none"> <li>防犯器具（刺又3本）を購入し、院内に設置した。</li> <li>「暴言・暴力マニュアル」を改訂し、事案発生時の初期対応や連絡方法等の記載を整理した。</li> </ul>